

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合いましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2024.8.26-9.1

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合いましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

26日 月曜

テサロニケ I



5:12 兄弟たち、あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主にあつてあなたがたを指導し、訓戒している人たちを重んじ、

5:13 その働きゆえに、愛をもって、この上ない尊敬を払いなさい。また、お互いに平和を保ちなさい。

5:14 兄弟たち、あなたがたに勧めます。怠惰な者を諭し、小心な者を励まし、弱い者の世話をし、すべての人に対して寛容でありなさい。

5:15 だれも、悪に対して悪を返さないように気をつけ、互いの中で、またすべての人に対して、いつも善を行うように努めなさい。

5:16 いつも喜んでいなさい。

5:17 絶えず祈りなさい。

5:18 すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

5:19 御霊を消してはいけません。

5:20 預言を軽んじてはいけません。

5:21 ただし、すべてを吟味し、良いものはしっかり保ちなさい。

5:22 あらゆる形の悪から離れなさい。

主の日すなわち主イエスにお会いすることを思うなら、クリスチャンはいよいよ地上の生き方が善きものになってゆきます。パウロも終末の話をした後に、地上での今のあり方を具体的に勧めています。

指導者を認めて尊敬すべきこと。気ままな者や小心な者や弱い者への態度、また悪い人にも悪で報いなくて善を行うべきことなど。

また「絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。」というのは、クリスチャンの基本姿勢です。

そして御霊はクリスチャンにとってなくてはなら

ないお方です。ただし「消してはなりません。」とあるように、私たちが心からお迎えしなければなりません。預言とは神のことばですから聖書と言ってよいでしょう。御霊と聖書、これはクリスチャンの生命線です。両者に触れていなくて、クリスチャンの主張も計画も見通しも意見もありません。

良いものは何でしょうか。また悪は何でしょうか。両者を取捨選択するのは、御霊と聖書による決心が必要です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 27日 火曜

テサロニケ I



5:23 平和の神ご自身が、あなたがたを完全に聖なるものとしてくださいますように。あなたがたの霊、たましい、からだのすべてが、私たちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのないものとして保たれていますように。

5:24 あなたがたを召された方は真実ですから、そのようにしてくださいます。

5:25 兄弟たち、私たちのためにも祈ってください。

5:26 すべての兄弟たちに、聖なる口づけをもってあいさつをなささい。

5:27 この手紙をすべての兄弟たちに読んで聞かせるよう、私は主によって強く命じます。

5:28 私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたとともにありますように。

この5章には何かたくさんのことが書かれていて、息が詰まるように感じるでしょうか。パウロは「あなたがたを召された方は真実ですから、そのようにしてくださいます。」と宣言しています。主を愛して、主に頼りつつ、主にお会いすることを待ち望みつつ、地上の歩みを全うして行きましょう。

「聖なる口づけ」とあります。日本では習慣は違いますが、敬愛を着わす方法やことばは色々あります。兄弟姉妹に対する、主の愛を表してゆきましよう。どんなことができるでしょうか。考えてみましょう。そして実行しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



28日 水曜

テサロニケⅡ

1:1 パウロ、シルワノ、テモテから、私たちの父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ。

1:2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにありますように。

1:3 兄弟たち。あなたがたについて、私たちはいつも神に感謝しなければなりません。それは当然のことです。あなたがたの信仰が大いに成長し、あなたがたすべての間で、一人ひとりの互いに対する愛が増し加わっているからです。

1:4 ですから私たち自身、神の諸教会の間であなたがたを誇りに思っています。あなたがたはあらゆる迫害と苦難に耐えながら、忍耐と信仰を保っています。

1:5 それは、あなたがたを神の国にふさわしいものと認める、神の正しいさばきがあることの証拠です。あなたがたが苦しみを受けているのは、この神の国のためです。

1:6 神にとって正しいこととは、あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え、

1:7 苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えることです。このことは、主イエスが、燃える炎の中に、力ある御使いたちとともに天から現れるときに起こります。

1:8 主は、神を知らない人々や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に罰を与えられます。

1:9 そのような者たちは、永遠の滅びという刑罰を受け、主の御前から、そして、その御力の栄光から退けられることとなります。



1:10 その日に主イエスは来て、ご自分の聖徒たちの間であがめられ、信じたすべての者たちの間で感嘆の的となります。そうです、あなたがたに対する私たちの証しを、あなたがたは信じたのです。

1:11 こうしたこのため、私たちはいつも、あなたがたのために祈っています。どうか私たちの神が、あなたがたを召しにふさわしい者にし、また御力によって、善を求めあらゆる願いと、信仰から出た働きを実現してくださいますように。

1:12 それは、私たちの神であり主であるイエス・キリストの恵みによって、私たちの主イエスの名があなたがたの間であがめられ、あなたがたも主にあって栄光を受けるためです。

「迫害と困難に耐えながら」信仰を守りとしているテサロニケ教会の人々に、パウロは「神に感謝」しつつ、この手紙を書いています。私たちも自分自身の在り方が感謝されるような歩みや働きをする者となりましょう。

この時代、主イエスへの信仰を持つことは、迫害困難を受けることを意味しますが、パウロは信仰を伝え、また守ることを勧めました。現代でも事なかれ主義のような風潮にあって、クリスチャンは困難の中でも主のために生きることが励まし合う者たちです。

なぜなら「主イエスが、炎の中に、力ある御使いたちを従えて天から現われる」からです。パウロがテサロニケ教会のクリスチャンに対して「あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え、苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えてくださる」という、厳かなわさが、主イエスの現れのときに実現すからです。

主イエスのために苦勞することは、決して犠牲

や被害者ではありません。それは地上にあっては祝福された生涯の扉であり、永遠においては絶大なる報への希望なのです。パウロには愛があるので、そのような生き方を勧めています。

主のために生きる人は「主にあって栄光を受ける」のです。主イエスの再臨と共に、そのことを信じましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたその部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



29日 木曜

テサロニケⅡ



2:1 さて兄弟たち。私たちの主イエス・キリストの来臨と、私たちが主のみもとに集められることに関して、あなたがたにお願いします。

2:2 霊によってであれ、ことばによってであれ、私たちから出たかのような手紙によってであれ、主の日がすでに来たかのように言われるのを聞いても、すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。

2:3 どんな手段によっても、だれにもたまされてはいけません。まず背教が起こり、不法の者、すなわち滅びの子が現れなければ、主の日は来ないのです。

2:4 不法の者は、すべて神と呼ばれるもの、礼拝されるものに対抗して自分を高く上げ、ついには自分こそ神であると宣言して、神の宮に座ることになります。

2:5 私がまだあなたがたのところに行ったとき、これらのことをよく話していたのを覚えていませんか。

2:6 不法の者がその定められた時に現れるようにと、今はその者を引き止めているものがあることを、あなたがたは知っています。

2:7 不法の秘密はすでに働いています。ただし、秘密であるのは、今引き止めている者が取り除かれる時までのことです。

2:8 その時になると、不法の者が現れますが、主イエスは彼を御口の息をもって殺し、来臨の輝きをもって滅ぼされます。

2:9 不法の者は、サタンの働きによって到来し、あらゆる力、偽りのしるしと不思議、

2:10 また、あらゆる悪の欺きをもって、滅びる者たちに臨みます。彼らが滅びるのは、自

分を救う真理を愛をもって受け入れなかったからです。

2:11 それで神は、惑わす力を送られ、彼らは偽りを信じるようになります。

2:12 それは、真理を信じないで、不義を喜んでいたすべての者が、さばかれるようになるためです。

初代教会の時代には、イエス様の再臨に関して両極端な間違った考えがありました。一つはペテロの手紙にあるように、「来臨の約束はどこにあるのか」というような否定と、一つはここにあるように、「主の日がすでに来たかのように」言う行き過ぎです。

現代でも似たようなことがあり、前者は不信仰を起し、後者は異端を生み出します。私たちは「だまされないように」しつつ、現代社会にある「不法の秘密」すなわち、半キリスト的な「滅びの子」を産み出す思想や風潮などに気をつけなければなりません。

それには「御霊による聖めと、真理による信仰」が重要です。世にあるものを何でも受け入れるのではなく、主のみこころによって見分けるようにしましょう。そのようにして、この終りの時に惑わされないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



30日 金曜

テサロニケⅡ



2:13 しかし、主に愛されている兄弟たち。私たちはあなたがたのことについて、いつも神に感謝しなければなりません。神が、御霊による聖別と、真理に対する信仰によって、あなたがたを初穂として救いに選ばれたからです。

2:14 そのため神は、私たちの福音によってあなたがたを召し、私たちの主イエス・キリストの栄光にあずからせてくださいました。

2:15 ですから兄弟たち。堅く立って、語ったことばであれ手紙であれ、私たちから学んだ教えをしっかりと守りなさい。

2:16 どうか、私たちの主イエス・キリストと、私たちの父なる神、すなわち、私たちを愛し、永遠の慰めとすばらしい望みを恵みによって与えてくださった方ご自身が、

2:17 あなたがたの心を慰め、強めて、あらゆる良いわざとことばに進ませてくださいますように。

3:1 最後に兄弟たち、私たちのために祈ってください。主のことばが、あなたがたのところと同じように速やかに広まり、尊ばれるように。

3:2 また、私たちが、ひねくれた悪人どもから救い出されるように祈ってください。すべての人に信仰があるわけではないからです。

3:3 しかし、主は真実な方です。あなたがたを強くし、悪い者から守ってくださいます。

3:4 私たちが命じることを、あなたがたは実行していますし、これからも実行してくれると、私たちは主にあって確信しています。

3:5 主があなたがたの心を導いて、神の愛と

キリストの忍耐に向けさせていただきますように。

間違った教えに惑わされないためには「御霊による聖別と、真理に対する信仰」が重要です。世にあるものを何でも受け入れるのではなく、主のみこころによって見分けるようにしましょう。そのようにして、この終りの時に惑わされないようにしましょう。

世界史を福音によって変えたパウロであっても、その伝道は簡単でなく、困難を極めました。「ひねくれた悪人」がいたからです。自分と同じように困難にあるテサロニケの信徒たちをパウロは心配しますが、「主は…強くし…守って」くれると確信し、彼らを励ましています。

人を育てるときには、その人のために祈り、主からの確信をいただいて励ますことも、重要な働きです。その際に必要なのは「キリストの忍耐」です。それはあの十字架に至るイエス様の忍耐であって、私たちは十字架を思うときに、強い忍耐が心から湧いてくるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



31日 土曜

テサロニケⅡ



3:6 兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの名によって命じます。怠惰な歩みをして、私たちから受け継いだ教えに従わない兄弟は、みな避けなさい。

3:7 どのように私たちを見習うべきか、あなたがた自身が知っているのです。あなたがたの間で、私たちは怠惰に暮らすことはなく、

3:8 人からただでもらったパンを食べることもしませんでした。むしろ、あなたがたのこれにも負担をかけないように、夜昼、労し苦しみながら働きました。

3:9 私たちに権利がなかったからではなく、あなたがたが私たちを見習うように、身をもって模範を示すためでした。

3:10 あなたがたのところに行ったとき、働きたくない者は食べるな、と私たちは命じました。

3:11 ところが、あなたがたの中には、怠惰な歩みをしている人たち、何も仕事をせずにおせっかいばかり焼いている人たちがいると聞いています。

3:12 そのような人たちに、主イエス・キリストによって命じ、勧めます。落ち着いて仕事をし、自分で得たパンを食べなさい。

3:13 兄弟たち、あなたがたは、たゆまず良い働きをしなさい。

3:14 もし、この手紙に書いた私たちのことばに従わない者がいれば、そのような人には注意を払い、交際しないようにしなさい。その人が恥じ入るようになるためです。

3:15 しかし、敵とは見なさないで、兄弟として諭しなさい。

3:16 どうか、平和の主ご自身が、どんな時にも、どんな場合にも、あなたがたに平和を与

えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてとともにいてくださいますように。

3:17 私パウロが自分の手であいさつを記します。これは、私のどの手紙にもあるしるしです。このように私は書くのです。

3:18 私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたすべてとともにありますように。

「怠惰な歩み」とは、たとえば再臨はもう起きたと言って、実生活に身が入らないで、すべきことをおこたっている人々です。または「おせっかいばかりして…」とあるように、自分の現実や足元、そして責任から目をそらして生きる人々です。

聖書は神様から与えられた責任を全うするように教えています。多くの人々は仕事をしっかりとすることによって、それが成立するのです。仕事などの社会的責任を感謝しましょう。主のみこころは何であるかを、再確認、再認識して、主からそれを新たな思いで受け取りましょう。

また教会では怠惰な歩をする人も愛しますが、それを助長するような助けをしません。その人が良い歩をできるように、そのことを助けます。そのためにも「模範」となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1:1 ハカルヤの子ネヘミヤのことば。第二十年のキスレウの月に、私がスサの城にいたときのことばであった。

1:2 私の兄弟の一人ハナニが、ユダから来た数人の者と一緒に行って来た。私は、捕囚されずに残された逃れた者であるユダヤ人たちについて、またエルサレムのことについて、彼らに尋ねた。

1:3 彼らは私に答えた。「あの州で捕囚を生き残った者たちは、大きな困難と恥辱の中にあります。そのうえ、エルサレムの城壁は崩され、その門は火で焼き払われたままです。」

1:4 このことばを聞いたとき、私は座り込んで泣き、数日の間嘆き悲しみ、断食して天の神の前に祈った。

1:5 「ああ、天の神、【主】よ。大いなる恐るべき神よ。主を愛し、主の命令を守る者に対して、契約を守り、恵みを下さる方よ。

1:6 どうか、あなたの耳を傾け、あなたの目を開いて、このしもべの祈りを聞いてください。私は今、あなたのしもべイスラエルの子らのために、昼も夜も御前に祈り、私たちがあなたに対して犯した、イスラエルの子らの罪を告白しています。まことに、私も私の父の家も罪を犯しました。

1:7 私たちはあなたに対して非常に悪いことをして、あなたのしもべモーセにお命じになった、命令も掟も定めも守りませんでした。

1:8 どうか、あなたのしもべモーセにお命じになったことばを思い起こしてください。『あなたがたが信頼を裏切るなら、わたしはあなたがたを諸国の民の間に散らす。

1:9 あなたがたがわたしに立ち返り、わたしの命令を守り行うなら、たとえ、あなたがたのうちの散らされた者が天の果てにいても、わたしは彼らをそこから集め、わたしの名を住ませるためにわたしが選んだ場所に連れて来る。』

1:10 これらの者たちこそ、あなたがその偉大な力と力強い御手をもって贖い出された、あなたのしもべ、あなたの民です。

1:11 ああ、主よ。どうかこのしもべの祈りと、喜んであなたの名を恐れるあなたのしもべたちの祈りに耳を傾けてください。どうか今日、このしもべに幸いを見させ、この人の前で、あわれみを受けさせてくださいますように。」そのとき、私は王の献酌官であった。

エズラ記が神殿再建についての記録であるのに対して、ネヘミヤ記は城壁の再建について記されています。そのような歴史的偉業を指導したネヘミヤですが、その始まりはこのエピソードによります。

ネヘミヤはいつも故国のことが気がかりで、ハナニたちにそれを尋ねました。その報告を聞いて彼は「座り込んで泣き…」とあります。そのうえで、主の前に危機感を持って罪を悔い改めました。

ネヘミヤにとってエルサレムは神の都であり、その現状はまさに主の威光の表れです。彼の嘆きは主のための嘆きにほかなりません。

私たちが主の威光のために、この国を憂いて嘆き、本気でリバイバルを求める心が求められているのではないのでしょうか。城壁が崩された国のように、サタン攻撃にもろい様相は明らかで、犯罪や争いや不正によって、「困難と恥辱の中に」いるかのような状態です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

